体操用に特化したテレビ型コミュニケーション装置

～在宅していながら遠隔にある病院等と、映像・音声でコミュニケーションが取れる～

●藤田医科大学 教授　才藤栄一　●ブラザー工業株式会社　近藤義之

成果概要

Webカメラとインターネット上の会議サーバーを使用し、在宅していながら遠隔の病院等と映像・音声でコミュニケーションが取れる機能・サービスを提供する健康管理システムを構築できた。
このシステムを使って体力維持のための体操をすることで、下記のメリットを提供できるようになった。

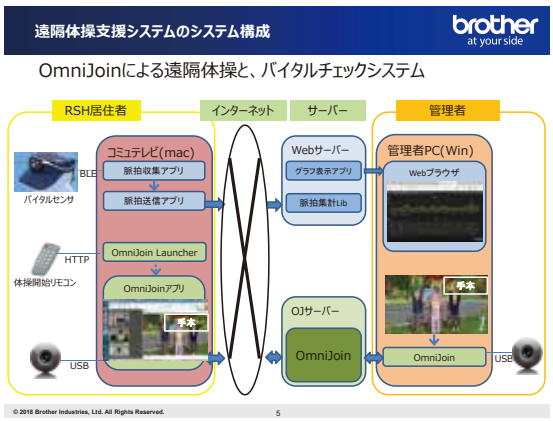
・仮想空間に入り込むような演出で、体操のモチベーションを高められる。
・医療従事者とコミュケーションを取りながら体操をするため、体操の効果を高められる。
・医療従事者が医療機関に居ながら、安全管理ができる。
・実証実験で得られたフィードバックによって、簡単に使用できる装置となった。

特長

●高齢者向けにわかりやすく操作ができる、もしくは医療従事者側から操作ができるシステム
●居宅内の他機器と連動して操作できるシステム

開発技術

居宅内の機器をネットワークで接続、制御するシステムを開発した。
・体操開始の指示により、複数の機器を協調制御
・遠隔の病院等からも操作ができるネットワーク制御
利用者のバイタルデータを遠隔の病院等から確認できるシステムを開発した。
・バイタルデータとして脈拍数、SpO_2を収集、集計
・通信内容を暗号化



システム図

医療従事者とコミュニケーションを取りながら体操を行っている様子

●お問い合わせ先：ブラザー工業株式会社　開発センター　ソフト技術開発部　近藤義之
e-mail :yoshiyuki.kondo@brother.co.jp　電話番号：070-1465-7250　FAX：052-824-4116
●特許の有無：無